

**テーマは「フェムテックとはじめる妊活の第一歩」
fermata が開催する Femtech Fes! (フェムテックフェス) に
ファミワン代表の石川が登壇いたします**

「子どもを願うすべての人によりそい 幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、LINE を活用した妊活コンシェルジュサービス「famione(ファミワン)」 <https://lp.famione.com/> を提供する株式会社ファミワンの代表取締役である石川 勇介が、「あなたのタブーがワクワクに変わる日まで」を掲げ、アジア・日本では未発達の Femtech 市場を育てるコミュニティ&スタートアップ支援エコシステムを提供する fermata 株式会社が開催する「Femtech Fes!」に登壇致します。



申込フォーム: <https://femtechfesvol22.peatix.com/>

■Femtech Fes! vol. 22「フェムテックとはじめる妊活の第一歩」

詳細

女性のウェルネスへのタブーがワクワクに変わる場として大好評をいただいている「Femtech Fes!」。引き続きオンラインにて開催いたします！

Femtech Fes! ONLINE 第22回目のテーマは、「フェムテックとはじめる妊活の第一歩」です！

これから妊活を始める方、妊活を最近始めた方々が抱える悩みは、どのようなものでしょうか。妊活では、正しい知識を身につけ、自分の心身の状態を把握することが大切です。例えば、バイオリズムを知り排卵時期を予測することで、妊娠の確率が高いタイミングでの性交渉が可能になるなど、出来ることは様々です。しかし、情報の信ぴょう性や、自分に本当に必要なソリューションなのか？などの見極めは、とても難しいのが現実です。

今回は、ファミワン株式会社の石川勇介さんと株式会社CURUCURUの時田由美子さんをお招きし、

- 妊活をはじめたい人が、まず出来ること
- 世界の妊活事情
- 妊活をサポートするプロダクト&サービス

などを深掘りし、「フェムテックとはじめる妊活」について考えていきます。少しでも、モヤモヤを解消できれば嬉しいです。皆さまのご参加、お待ちしております✧

***本イベントでは、医療従事者による不妊治療に関するご案内は行いません。妊活・不妊治療を本格的にご検討される際は、医療機関に必ずご相談ください。**

イベント概要

▼日時

2021年6月25日（金） 19:00～20:00 ※日本時間 (UTC+9)

▼参加方法

ビデオ会議システム「Zoom」（インターネット環境があれば、どこからでも接続可能）登録していただいた方に、後ほどZoomリンク（パスワード付き）をイベント前にお送りいたします。

▼参加費

無料

▼こんな方にオススメ

- 妊活に興味のある方
- 妊活をサポートするプロダクト&サービスについて知りたい方
- フェムテックに興味のある方

申込フォーム <https://femtechfesvol22.peatix.com/>

■スピーカー



石川 勇介 | 代表取締役 | ファミワン株式会社

自身の妊活で強く感じた課題を解決するため、2015年に株式会社ファミワンを創業。2.5万人の登録があるLINEを活用した妊活サポートサービス「ファミワン」を軸に、企業の福利厚生導入、自治体の住民向け提供、東京大学との共同研究、医療機関との連携、テレビドラマの医療監修などを実施。

株式会社ファミワン: <https://famione.co.jp/>



時田由美子 | 代表取締役 CEO | 株式会社 CURUCURU

IT企業のCTOを経て「ITで女性のライフスタイルを豊かに」をビジョンにCURUCURUを設立。全ての人々を孤独にしないつながりの実現をめざし、仲間づくりをテーマにしたゴルフ事業と、ひとりで悩みがちな女性の妊活ライフを応援するSNS事業「妊活ボイス」を展開。経営学修士。

株式会社 CURUCURU: <https://www.ninkatsu-voice.jp/>



Akane Eskola | Business Development Manager | fermata 株式会社

Haaga-Helia University of Applied Sciences, Business Service Solutions and Languages 専攻卒。フィンランドセンターを経て駐日フィンランド大使館通商・経済部で3年間勤務。フィンランド独立100周年や日本・フィンランド外交100周年記念事業にも従事。

fermata 株式会社: <https://hellofermata.com/>

■Femtech(フェムテック)とは？

女性の健康課題を解決する為に開発された、ソフトウェア、診断キット、サービス、およびその他プロダクトのことを指します。2025年までに500億ドル規模にまで成長するとされている、欧米諸国を中心に盛り上がりを見せているFemtech市場は、生理、不妊、妊孕性、セクシャルウェルネス、ペルビックヘルスケア(女性特有骨盤ヘルス)、フーティリティソリューション(IVF、卵子凍結など)、その他女性ウェルネス関連と女性の一生に寄り添い、今日の多様な生き方をしている女性たちのQOLの向上をサポートしています。

■Femtech Fes!とは？

実際にFemtechプロダクトに触れることができる展示会や、普段の悩みやモヤモヤを発散するワークショップ、コミュニティメンバーと出会う事ができるオフライン&オンラインのイベントです。今回の状況を受けて、しばらくはオンラインでFemtechの最新情報を参加者の方へお届けします。自分の体と心に向き合うきっかけを提供することで、セルフケアの重要性に気づいてもらい、より多くの女性のヘルスリテラシーを向上させることを目的としています。

■fermata inc.とは？

「あなたのタブーがワクワクに変わる日まで」を掲げ、アジア・日本では未発達のFemtech市場を育てるコミュニティ&スタートアップ支援エコシステムを提供します。医療、パブリックヘルス、ビジネス、デザイン、マーケティングなどの専門家で構成されており、市場調査から本格マーケット参入だけでなく、ユーザーコミュニティとの接点まで提供し、Femtech企業の事業成長をサポートします。

■妊活コンシェルジュ「famione(ファミワン)」とは

LINEを活用し、専門家のサポートをいつでも気軽に匿名で受けることが可能に

妊活コンシェルジュ「ファミワン」(<https://lp.famione.com/>)は、妊活に取り組む夫婦を支える、LINEを活用したパーソナルサポートサービスです。LINEのアカウント登録をすることで専門のチェックシートが届き、その入力内容を分析し、あなたの妊活状況に合わせたアドバイスを行います。

不妊症看護認定看護師や臨床心理士、培養士、妊活経験者のピアカウンセラーなど、多くの専門家によるアドバイスを受けることができ、妊活を意識し始めたばかりのタイミングから、病院選びや不妊治療中、やめ時までのあらゆる妊活の状況をサポートしています。

2018年9月より、法人の従業員や自治体の住民の方向けに提供を開始。不妊治療と仕事との両立支援の観点から小田急電鉄やミクシィグループへの福利厚生導入、ソニー、全日本空輸株式会社(ANA)、伊藤忠労働組合などへのセミナー開催、そして、神奈川県横須賀市への「妊活LINEサポート事業」の提供を行っています。

※本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。



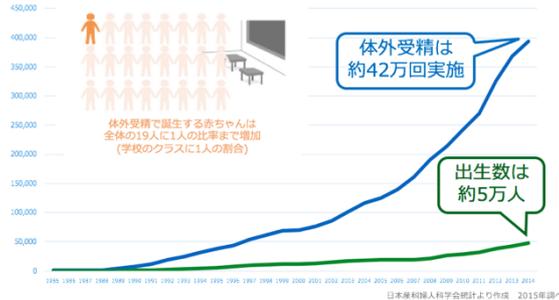
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL: 080-2243-6995

【参考資料】

■社会背景

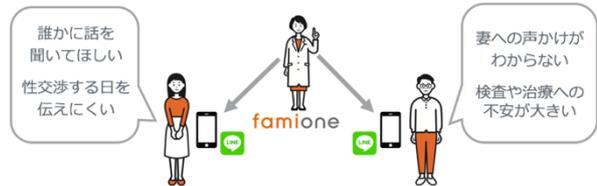
約6組に1組の夫婦が妊活に取り組み
体外受精の治療数も急増している
2015年に42万回実施され、5万人が誕生



■サービスの概要

不妊症看護認定看護師等による
LINEのチャットサポートを提供

実際に医療現場でケアを行う専門家が
適切な情報と知見をもとに夫婦の悩みに対応



■ファミワン医療監修のテレビドラマ

フジテレビ「隣の家族は青く見える」2018年放送
http://www.fujitv.co.jp/tonari_no_kazoku/index.html



■導入実績

小田急電鉄をはじめとする企業の福利厚生導入や
東京都主催「不妊治療と仕事の両立セミナー」登壇

小田急電鉄の駅現業(監督者層)に向けた講演



■神奈川県横須賀市への提供

全国初となる「妊活 LINE サポート事業」の導入
<https://famione.com/local/>



■東京大学等と共に臨床研究を開始

東京大学医学部附属病院・医療法人三慧会との
「生活習慣が妊活に与える影響」を解明する研究

「適切な被験者スクリーニング」「医学的観点に基づく調査票」「体外受精の各種成績」

本研究は、以下の内容をもとに、多施設共同の臨床研究として進行しています。

- 1) 体外受精を行う女性を対象に、年齢やBMI、疾患などから被験者をスクリーニング
- 2) 「FertiQoI インターナショナル※5」をはじめとする既存の調査票を参考に、東京大学と共同で作成した生活習慣にまつわるアンケートを取得
- 3) 体外受精の成績や、治療・投薬記録を取得

※5 不妊に関する生活の質(QoL)アンケート調査票/欧州ヒト生殖発生学会および米国生殖医学学会

